

第80回新型コロナウイルス対策本部会議 次第

日時 令和4年3月17日（木）18:00～

場所 危機管理防災センター本部会議室

1 開 会

2 知事発言

3 議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生動向・医療提供体制について
- (2) 令和4年3月22日以降における県民・事業者の皆様へのお願いについて
- (3) 令和4年3月22日以降の学校の対応について

4 訓 示

5 閉 会

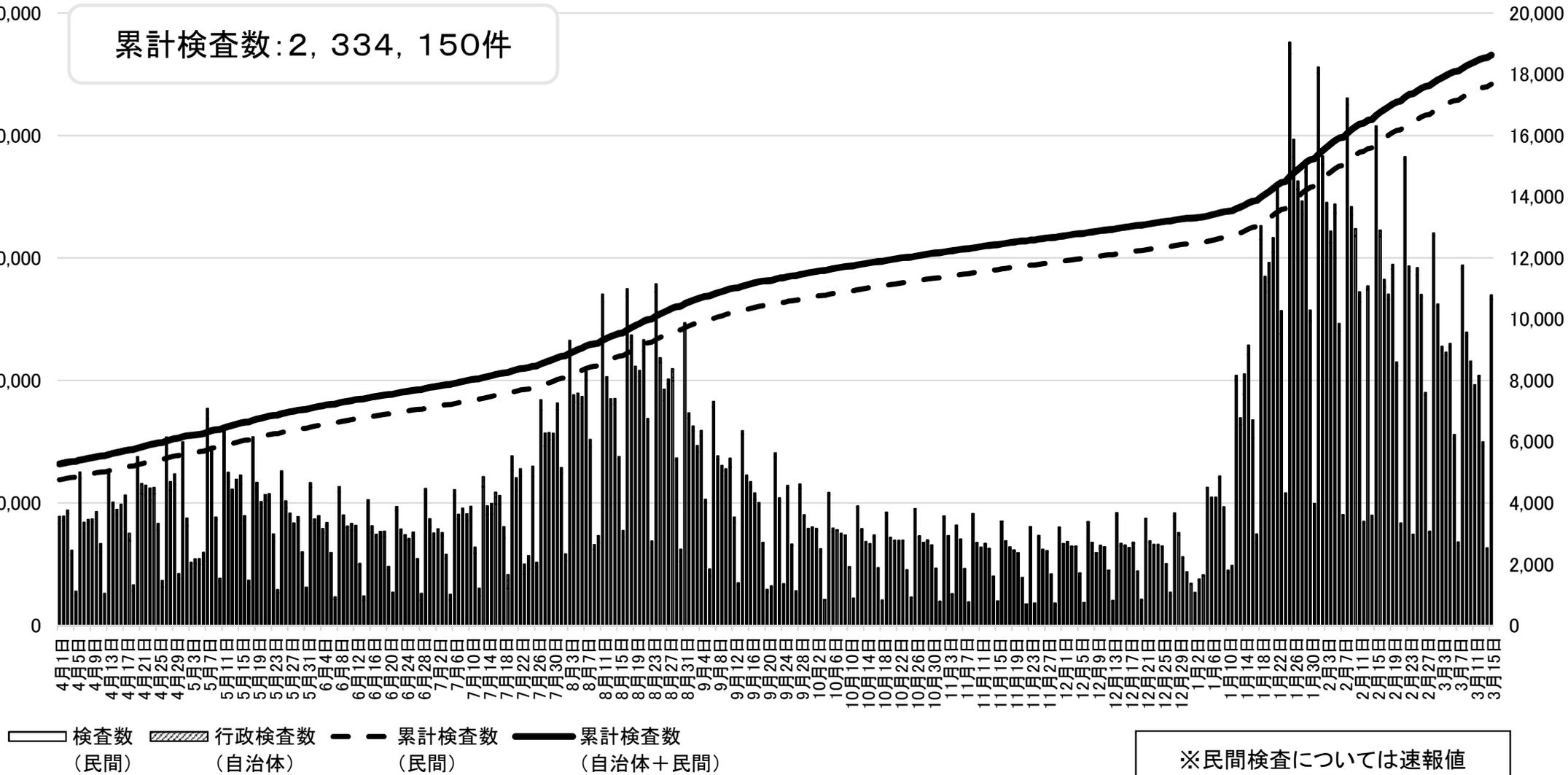
第80回新型コロナウイルス対策本部会議名簿

職名	氏名	備考
知事	大野 元裕	
副知事	砂川 裕紀	
知事室長	小島 康雄	
統括参事	奥山 秀	
報道長	島田 繁	
政策・財務局長	中山 貴洋	代理
総務部長	小野寺 亘	
県民生活部副部長	市川 善一	代理
危機管理防災部長	安藤 宏	
環境未来局長	末柄 勝朗	代理
福祉部長	山崎 達也	
保健医療部長	関本 建二	
産業労働部副部長	目良 聡	代理

職名	氏名	備考
農林部長	強瀬 道男	
県土整備部長	北田 健夫	
都市整備部副部長	堀井 徹	代理
会計管理者	穴戸 佳子	
企業局長	磯田 和彦	代理
下水道事業管理者	今成 貞昭	
議会事務局長	加藤 繁	
監査事務局副事務局長兼 監査第一課長	関口 修宏	代理
人事委員会事務局長	阿部 隆	
労働委員会副事務局長兼 審査調整課長	後藤 安史	代理
教育長	高田 直芳	
警察本部警備部長	田崎 仁史	代理

PCR検査等の現状

累計検査数: 2, 334, 150件

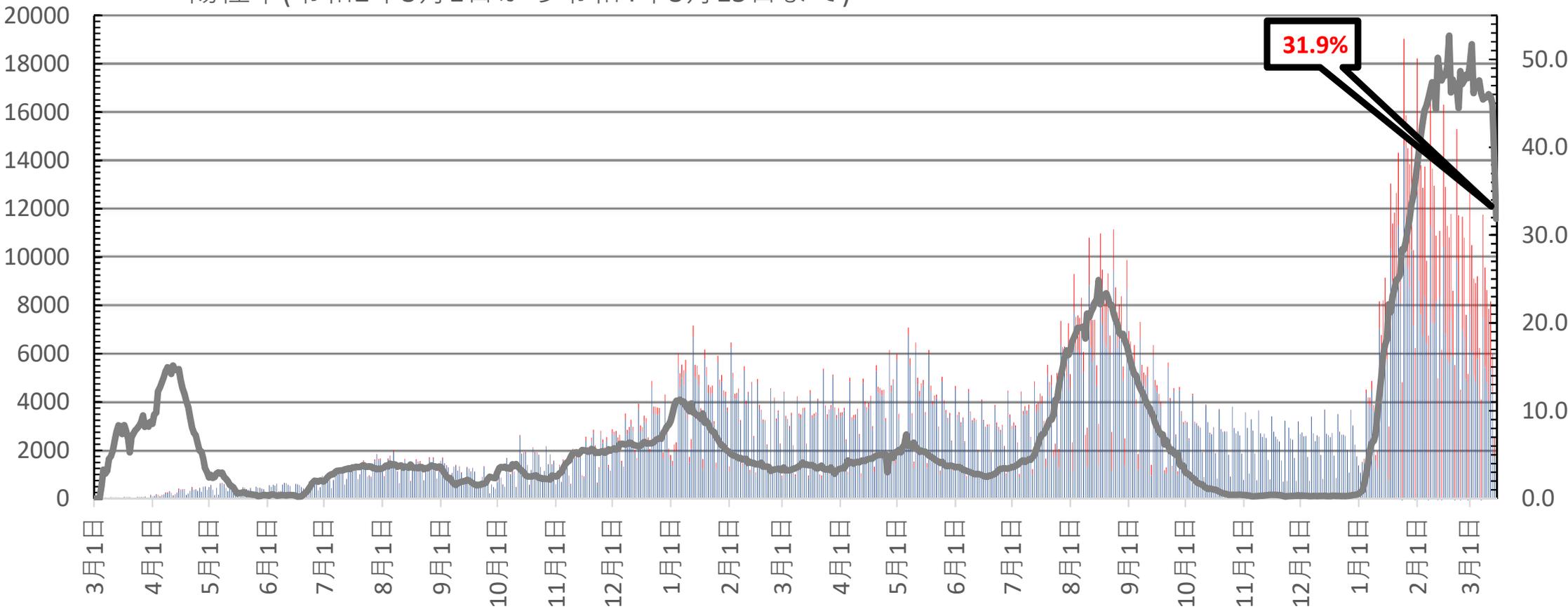


※民間検査については速報値

陽性率の推移

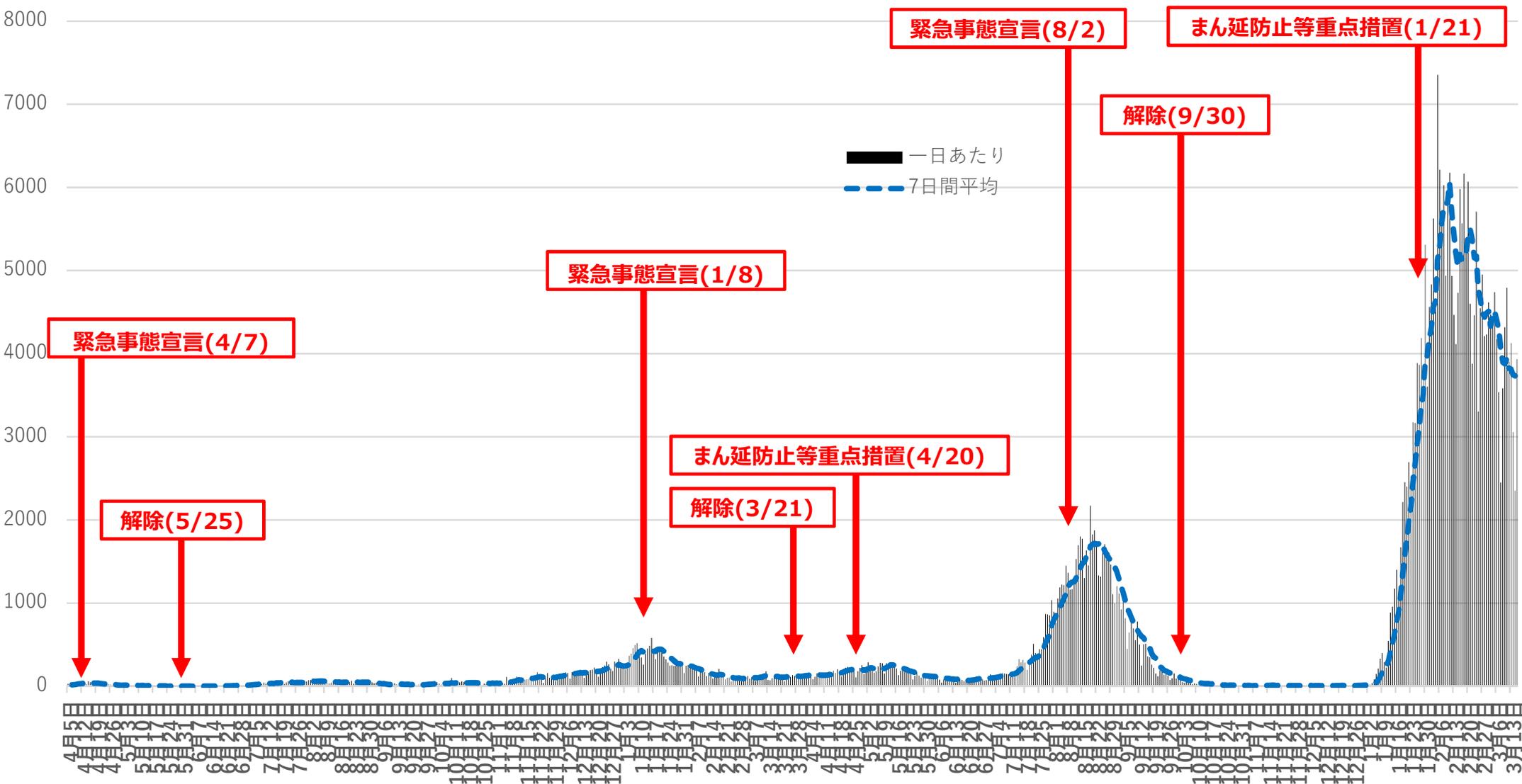
陽性率(令和2年3月1日から令和4年3月15日まで)

■ 陰性 ■ 陽性 — 移動平均

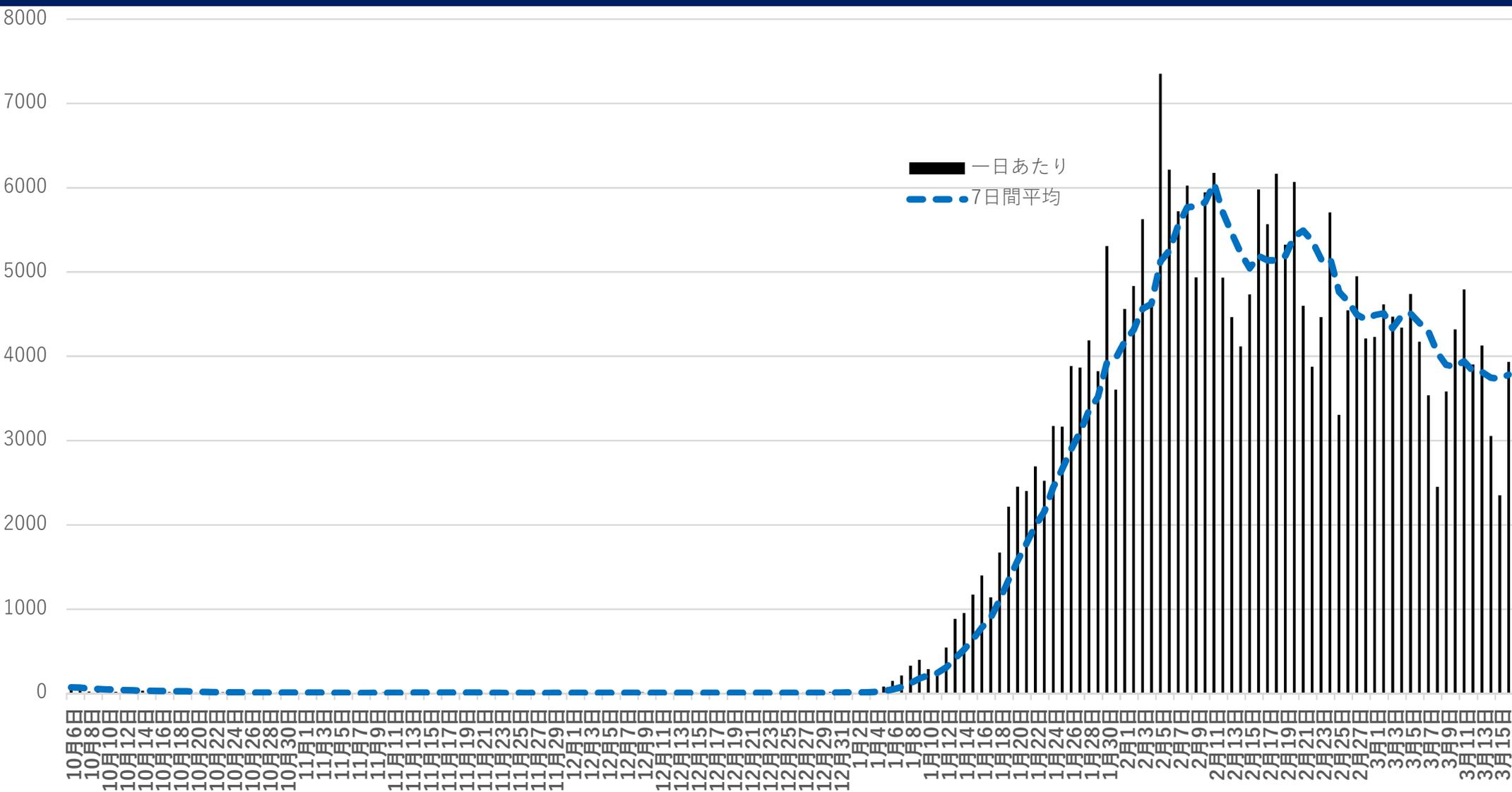


※陽性率は、民間検査の検査人数が報告されるまでのタイムラグなど日々の結果のばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、移動平均の値を使用。
「過去7日間に判明した陽性者数」を「過去7日間に判明した陽性者数と陰性者数の和」で除した値を、その日の「陽性率(移動平均)」としている。
※民間検査分は速報値であるため、遡って数値を修正する場合がある。
※陰性確認のための検査は含まれていない。

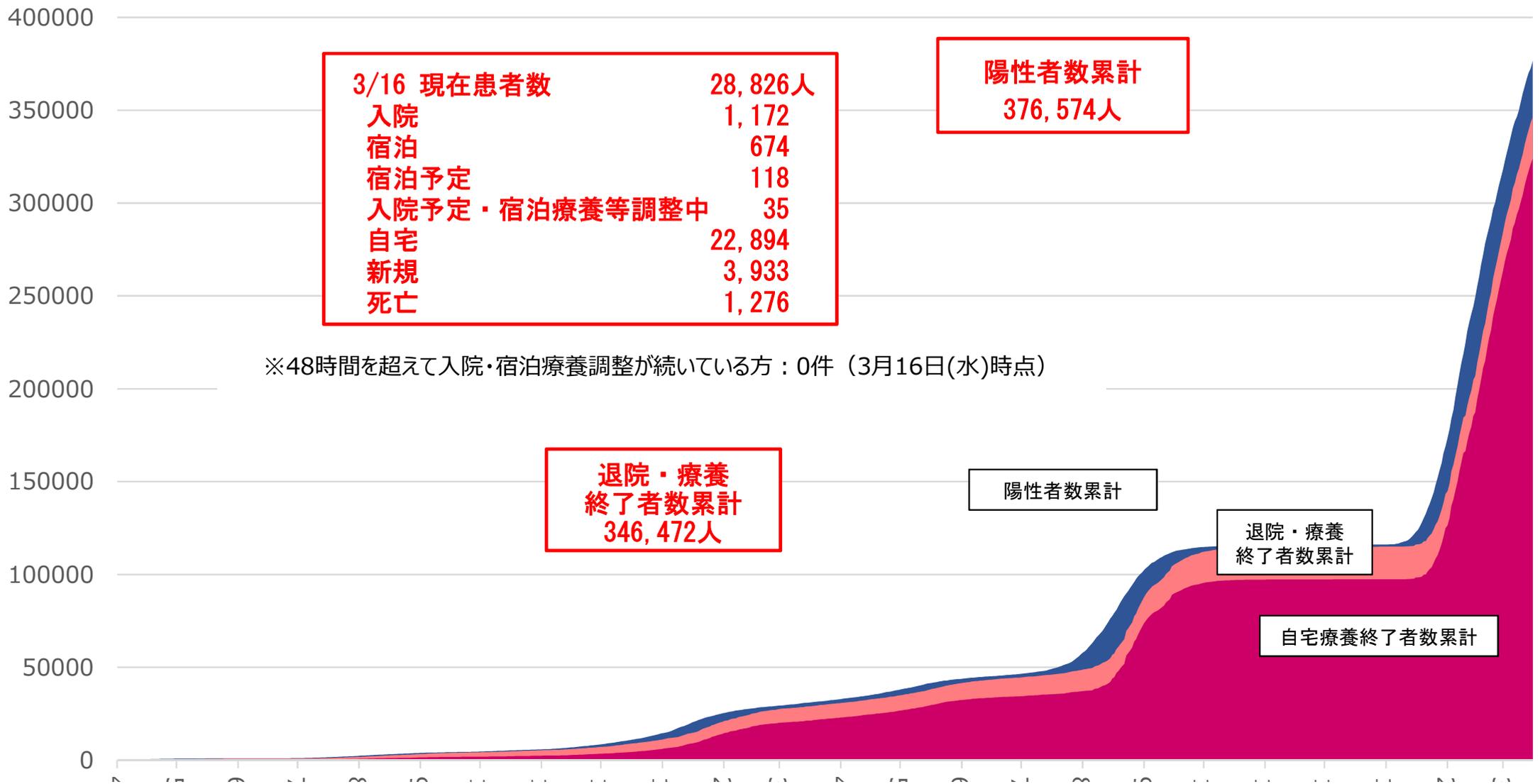
陽性者数の推移(日別)(2020.4.1~)



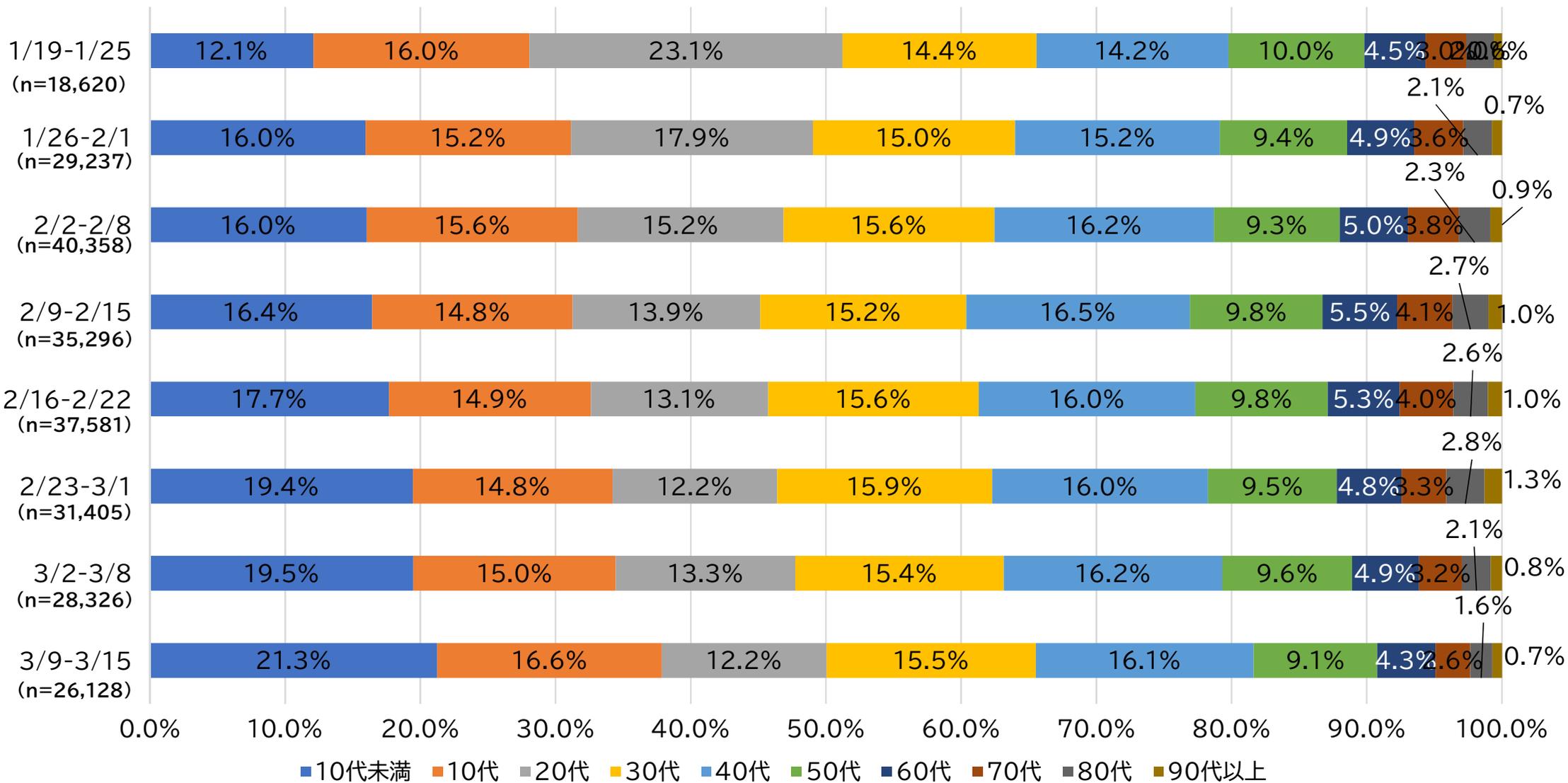
陽性者数の推移(日別)(2021.10.1~)



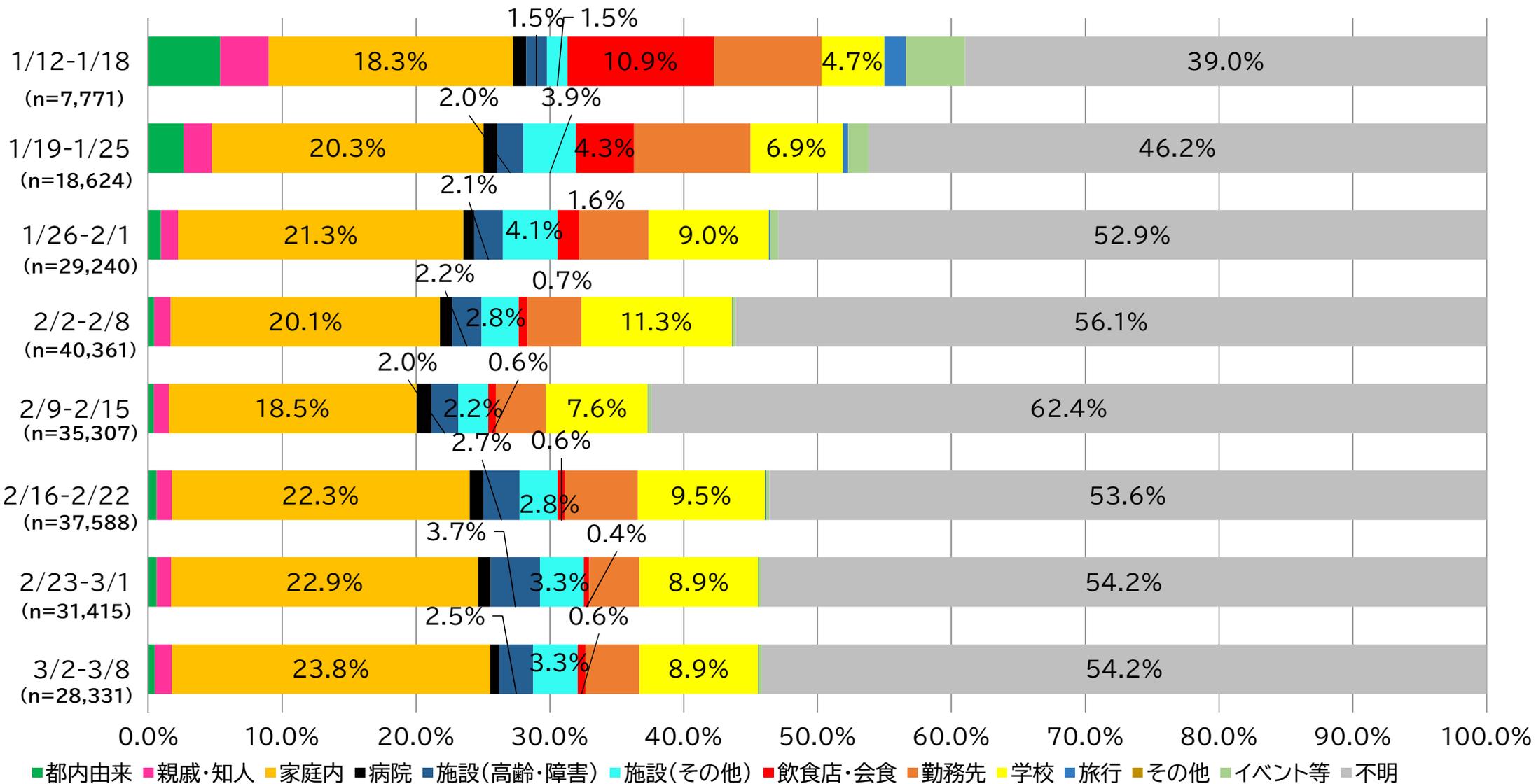
陽性者数と退院・療養終了者数の推移(累計)



年齢別感染者の推移(発表日ベース)【構成比】

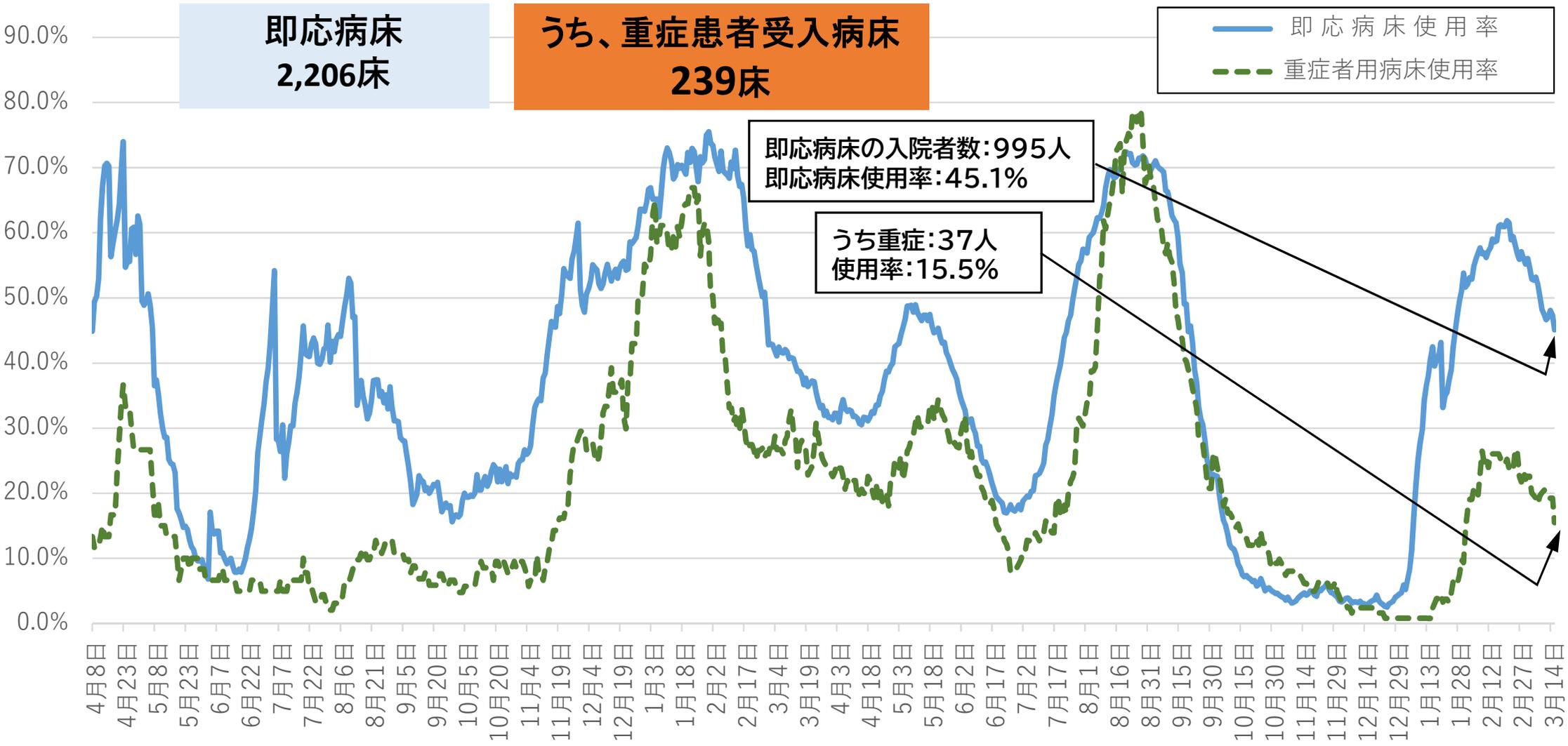


感染経路推移(発表日ベース)【構成比】

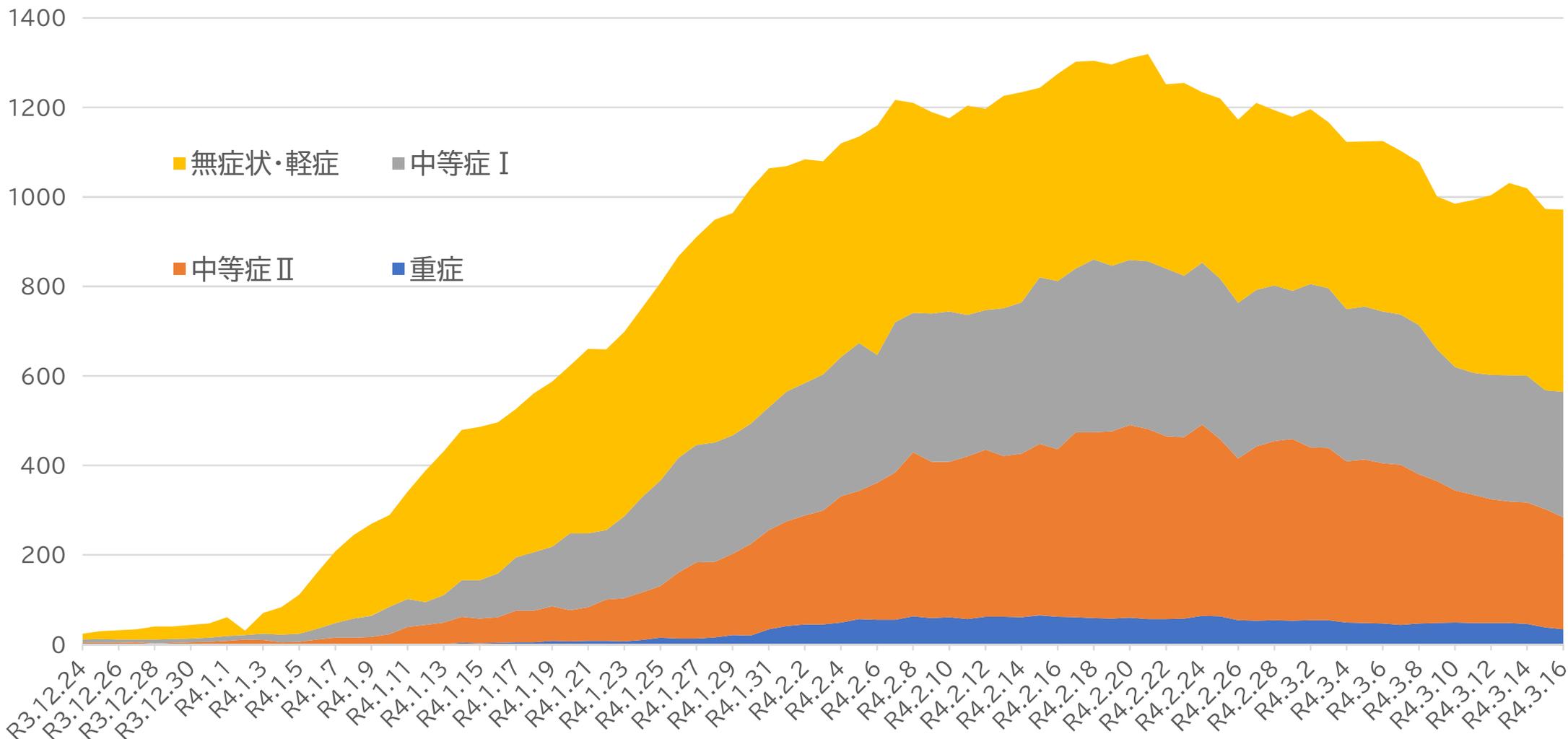


※①積極的疫学調査の重点化②さいたま市、越谷市発表分の詳細情報が未達なため感染経路「不明」の割合が大きくなっている。

即応病床使用率の推移



入院患者症状別推移



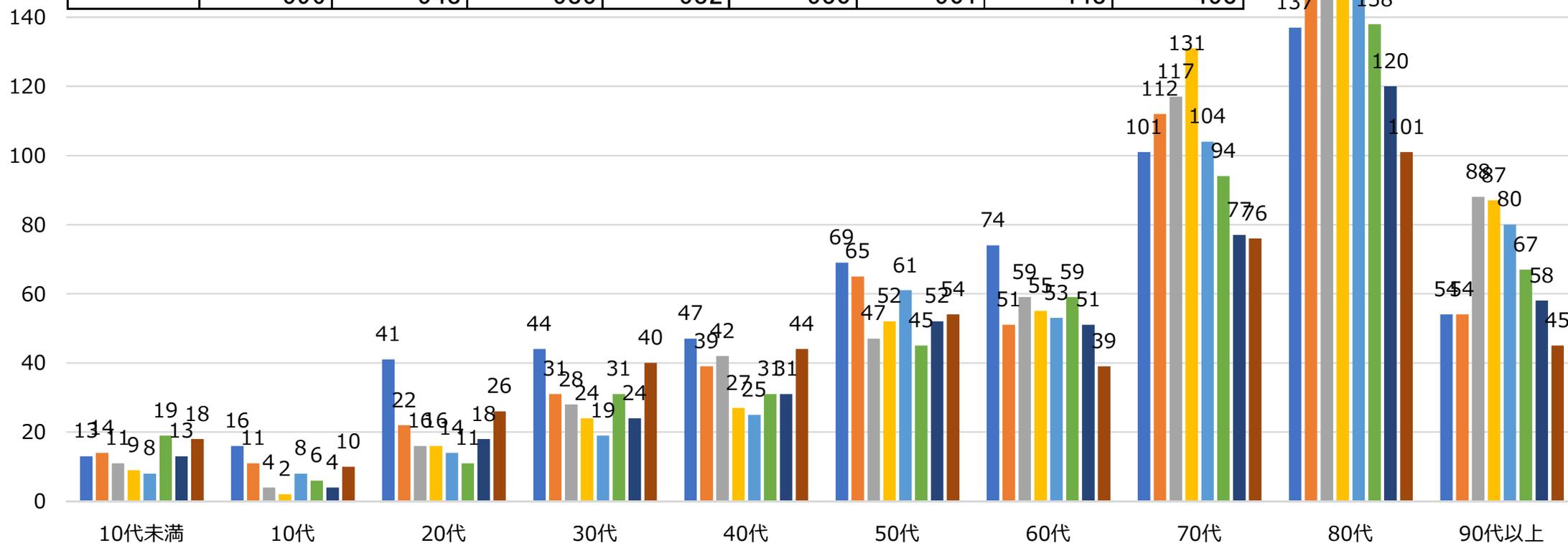
※MCSを通じた医療機関からの報告を集計したもの ※集計する時点によって、HP上で公表している数値と異なる場合がある

年齢別新規入院患者数（フロー）の推移（7日間累計）

※調整本部データより作成

■ 1/20~1/26 ■ 1/27~2/2 ■ 2/3~2/9 ■ 2/10~2/16 ■ 2/17~2/23 ■ 2/24~3/2 ■ 3/3~3/9 ■ 3/10~3/16

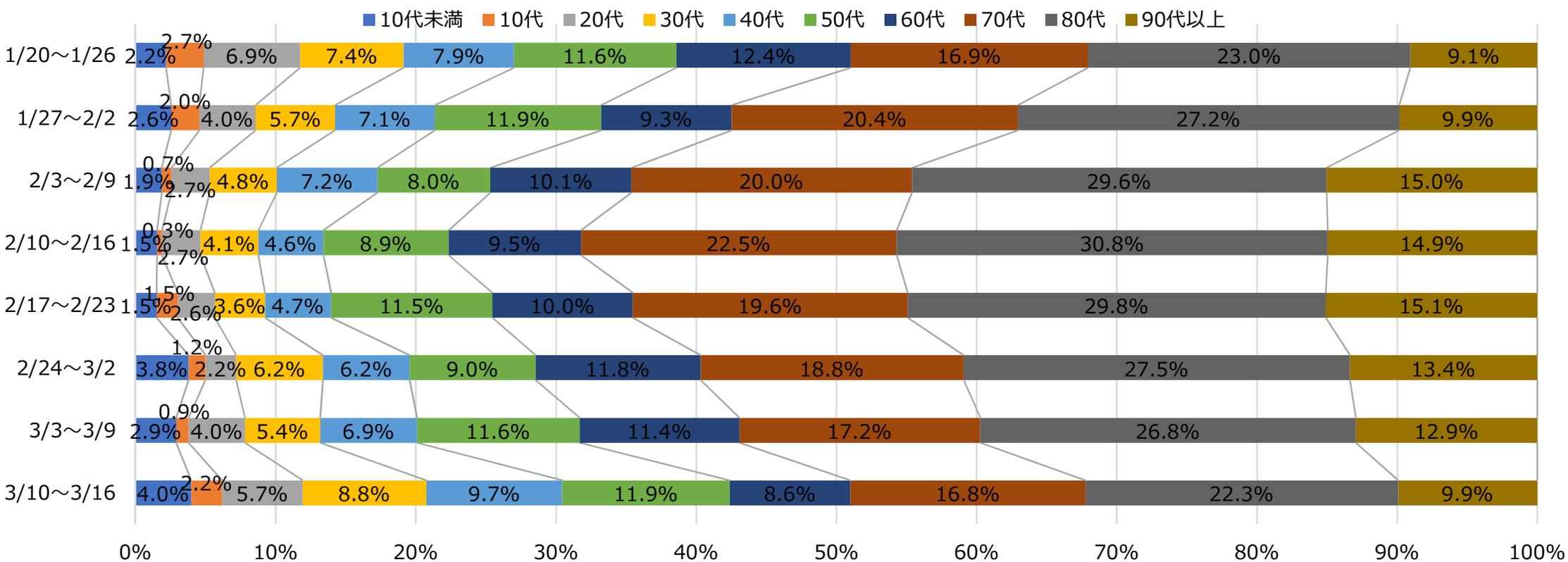
	1/20~1/26	1/27~2/2	2/3~2/9	2/10~2/16	2/17~2/23	2/24~3/2	3/3~3/9	3/10~3/16
10代以下	29	25	15	11	16	25	17	28
20~30代	85	53	44	40	33	42	42	66
40~50代	116	104	89	79	86	76	83	98
60代以上	366	366	437	452	395	358	306	261
	596	548	585	582	530	501	448	453



年齢別新規入院患者構成比（フロー）の推移（7日間累計）

※調整本部データより作成

	1/20~1/26	1/27~2/2	2/3~2/9	2/10~2/16	2/17~2/23	2/24~3/2	3/3~3/9	3/10~3/16
10代以下	4.9%	4.6%	2.6%	1.9%	3.0%	5.0%	3.8%	6.2%
20~30代	14.3%	9.7%	7.5%	6.9%	6.2%	8.4%	9.4%	14.6%
40~50代	19.5%	19.0%	15.2%	13.6%	16.2%	15.2%	18.5%	21.6%
60代以上	61.4%	66.8%	74.7%	77.7%	74.5%	71.5%	68.3%	57.6%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



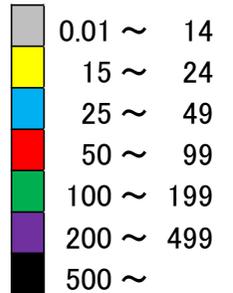
レベル判断のための指標(3月16日現在)

二次保健医療圏	移行の目安		南部		南西部	東部			さいたま	県央	川越比企			西部	利根		北部		秩父	埼玉県全体
	レベルⅡ	レベルⅢ																		
確保病床使用率 (入院者数/確保病床数)	確保病床使用率 20%以上 (医療圏ごと)	確保病床使用率 50%超	50.2%		49.7%		48.2%		48.8%	27.5%		53.6%		42.7%		34.4%		52.4%	28.0%	45.1%
			(140人/279床)		(96人/193床)		(121人/251床)		(191人/391床)	(61人/222床)		(118人/220床)		(103人/241床)		(83人/241床)		(75人/143床)	(7人/25床)	(995人/2,206床)
重症病床使用率 (入院者数/重症病床数)		重症病床使用率 50%超	13.0%		9.1%		41.7%		9.5%	0.0%		25.0%		18.4%		8.3%		28.6%	0.0%	15.5%
			(6人/46床)		(2人/22床)		(5人/12床)		(4人/42床)	(0人/10床)		(7人/28床)		(7人/38床)		(2人/24床)		(4人/14床)	(0人/3床)	(37人/239床)
保健所名			南部	川口市	朝霞	春日部	越谷市	草加	さいたま市	鴻巣	東松山	坂戸	川越市	狭山	加須	幸手	熊谷	本庄	秩父	埼玉県全体
10万人あたり新規陽性者数	15人以上 (保健所ごと)		572.3人	394.1人	396.3人	339.0人	382.9人	416.8人	355.8人	257.0人	235.5人	215.1人	274.6人	373.3人	224.9人	220.3人	269.6人	258.3人	127.9人	360.8人
新規陽性者数先週比	先週比1.0超 (保健所ごと)		1.242	0.967	0.949	1.262	0.867	0.896	0.871	0.789	0.884	0.697	0.895	1.113	0.701	0.639	1.012	0.820	0.781	0.970
陽性率	5%以上		31.9%																	

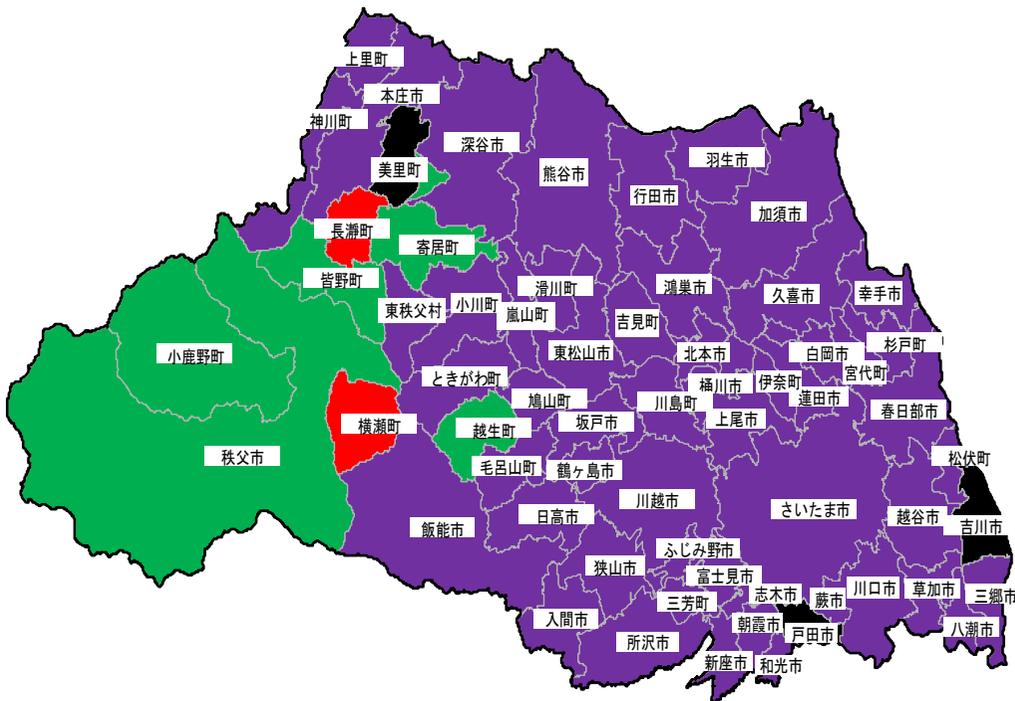
※地域ごとの感染状況を把握するため、病床利用率については入院医療の提供体制を整備する地域の単位である二次保健医療圏ごと、新規陽性者数については地域の感染症対策の基礎となる保健所ごとの指標となっている。
 ※この指標における「確保病床」とは、厚生労働省の定義に合わせており、現在のフェーズにおける即応病床数ではなく、最終フェーズ（フェーズ4）における確保病床数となっている。

人口10万人あたりの新規陽性者数

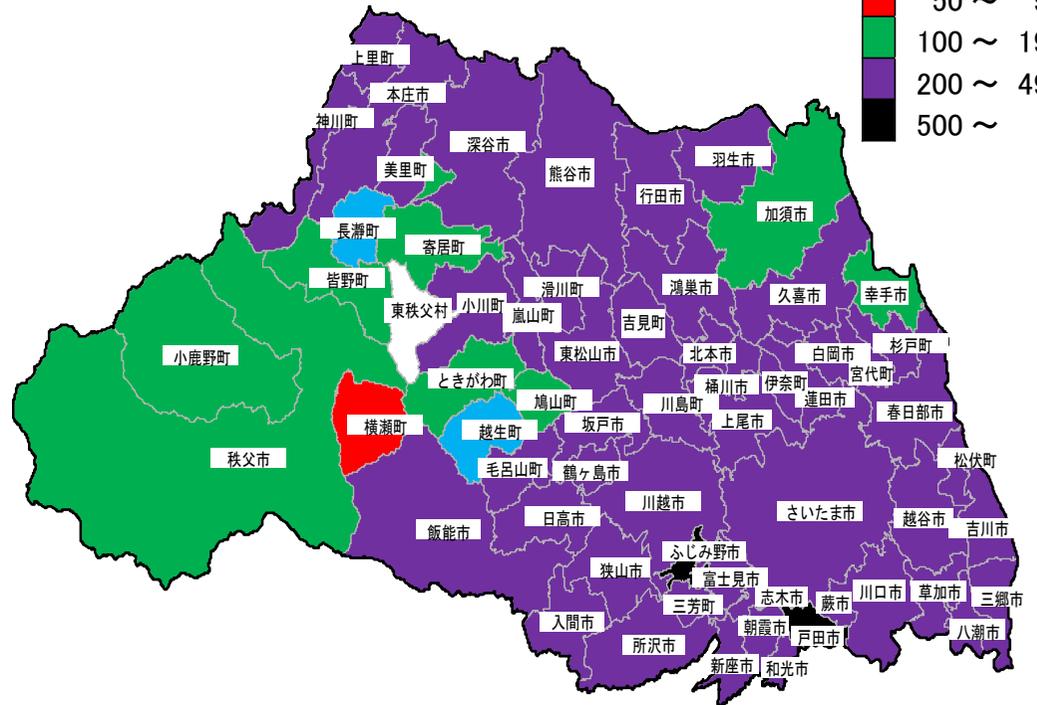
(人口10万人あたりの人数(1週間))



3/3~3/9



3/10~3/16



その他参考指標の推移

項目	3月2日	前週比	3月9日	前週比	3月16日	備考
確保病床の使用率	55.2%	↘	50.1%	↘	45.1%	確保病床：2,206床
重症確保病床の使用率	22.2%	↘	19.7%	↘	15.5%	重症確保病床：239床
入院率	5.1%	↘	4.8%	↘	4.1%	
重症者数（1週間平均）	56.9人	↘	48.6人	↘	46.0人	
中等者数（1週間平均）	794.7人	↘	752.0人	↘	515.7人	
自宅療養者数及び療養先等調整中の合計値（1週間人口10万人当たり）	404.6人	↘	385.5人	↘	367.6人	
陽性率（1週間平均）	51.7%	↘	45.7%	↘	31.9%	最新値は3月15日の数値
新規陽性者数（1週間人口10万人当たり）	430.1人	↘	371.9人	↘	360.8人	
感染経路不明割合	62.2%	↗	65.2%	↘	65.0%	最新値は3月15日の数値
今週先週比	0.875	↘	0.865	↗	0.970	
実効再生産数	0.909	↘	0.901	↗	0.979	計算式=(直近7日間の新規陽性者数/その前の7日間の新規陽性者数)^(5※/7日)※平均世代時間を5日と仮定"

感染状況1都3県比較（0316時点）

	医療提供体制などの負荷			療養者数	監視体制 PCR陽性率	感染の状況		
	病床のひっ迫具合					新規報告数	直近1週間と 先週1週間の 比較	感染経路 不明割合
	病床全体	うち重症者用病床	入院率					
埼玉県	45.1% (995/2,206)	15.5% (37/239)	4.1%	392.7人	31.9%	360.8人	0.97	65.0%
東京都	37.5% (2,709/7,229)	33.7% (494/1,468)	2.3%	855.6人	31.4%	421.9人	0.86	59.6%
神奈川県	50.2% (1,256/2,500)	25.6% (69/270)	3.2%	428.8人	公表停止	410.2人	0.92	90.3%
千葉県	48.6% (906/1,866)	10.6% (19/179)	4.0%	360.0人	50.1%	344.4人	0.93	非公表

※各自治体HP等による ※病床使用率の分母の病床数は各自治体の最大確保病床を計上している

ファーストタッチ、入院・宿泊療養施設調整、自宅療養者の健康観察の状況

令和4年3月16日時点

◎ ファーストタッチ（発生届に基づく陽性者への最初の連絡）

県内全保健所が翌日までに実施している。

◎ 入院並びに宿泊療養施設入所調整の状況

入院予定・宿泊療養等調整中 35人（前日比 -5人）

（当日17時時点で把握しているため、夕方から多くなるファーストタッチが17時直前で終了したものなどは調整中となり、ボトルネックとなっている訳ではない。）

◎ 自宅療養者の健康観察の状況

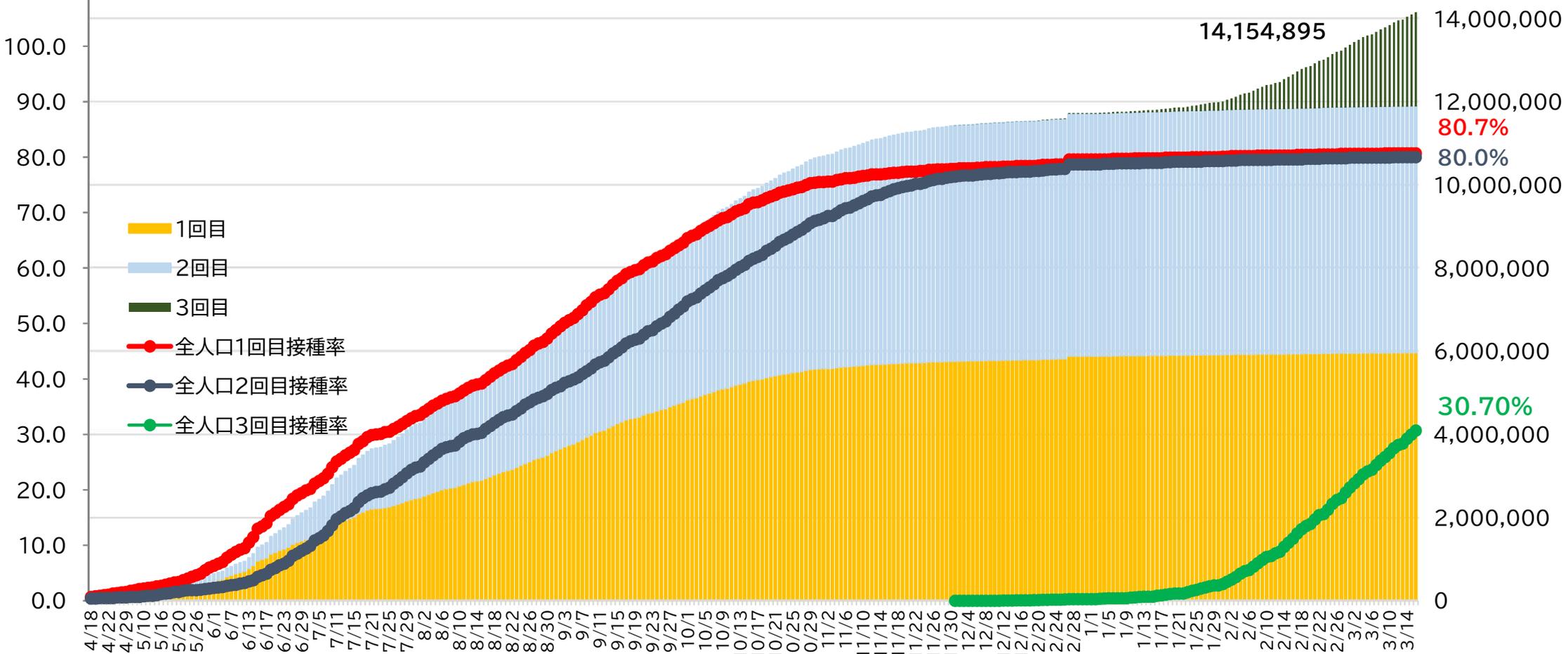
健康観察の主体	自宅療養者の合計	(前日比)	健康観察の方法（内訳）				備考
			My Her-sys	自動架電	直接架電	メール	
保健所	2,392	+ 85	332	92	1,476	492	肥満などのリスクの高い患者については、一日2回の健康観察を実施している。 (メールは川口市が実施)
協力医療機関	1,530	- 41	15	0	1,515	-	医師の判断により、一日1回以上の健康観察を実施している。
支援センター	18,651	- 738	17,456	754	441	-	健康観察を療養者全員に一日1回実施している。 支援センター応答率100%。
川口市独自の民間委託	474	- 3	-	-	474	-	肥満などのリスクの高い患者については、一日2回の健康観察を実施している。
合計	23,047	- 697	17,803	846	3,906	492	

※広義の自宅療養者数（宿泊療養予定＋入院予定・宿泊療養等調整中＋自宅療養）

新型コロナウイルスの接種実績

(R4.3.16までの実績)

	1回目接種	(前日比)	2回目接種	(前日比)	3回目接種	(前日比)	うち高齢者	(前日比)	合計	前日比
接種回数	5,969,606	(+465)	5,915,031	(+420)	2,270,258	(+53,620)	1,488,347	(+19,564)	14,154,895	(+54,505)
接種率	80.7%	(+0.0)	80.0%	(+0.0)	30.70%	(+0.72)	75.95%	(+1.00)		



※ 接種率は、R3.1.1時点の埼玉県の住基人口(739万3,799人)に対する、VRSに登録された接種数の割合から算出

新型コロナワクチン追加接種の進捗状況

追加接種（3回目接種）の進捗状況（3月16日までのVRS接種実績）

（1）2回目接種から6か月経過した対象者に対する接種率

- 6か月前の2回目接種完了者数に対する接種率（3回目接種者数／6か月前の2回目接種完了者数）について埼玉県は60.65%であり、全国平均の59.05%を上回っている（19位）

	人口 (A)	3回目接種（3/16時点）		2回目接種（9/16時点）		6か月経過者 に対する接種率 （3/16時点） （B）/（C）
		接種回数 (B)	対人口接種率 (B)/(A)	接種回数 (C)	対人口接種率 (C)/(A)	
全国	126,645,025	41,158,270	32.50%	69,696,205	55.03%	59.05%
埼玉県	7,393,799	2,270,258	30.70% (▲1.80)	3,743,125	50.63% (▲4.40)	60.65% (+1.60)

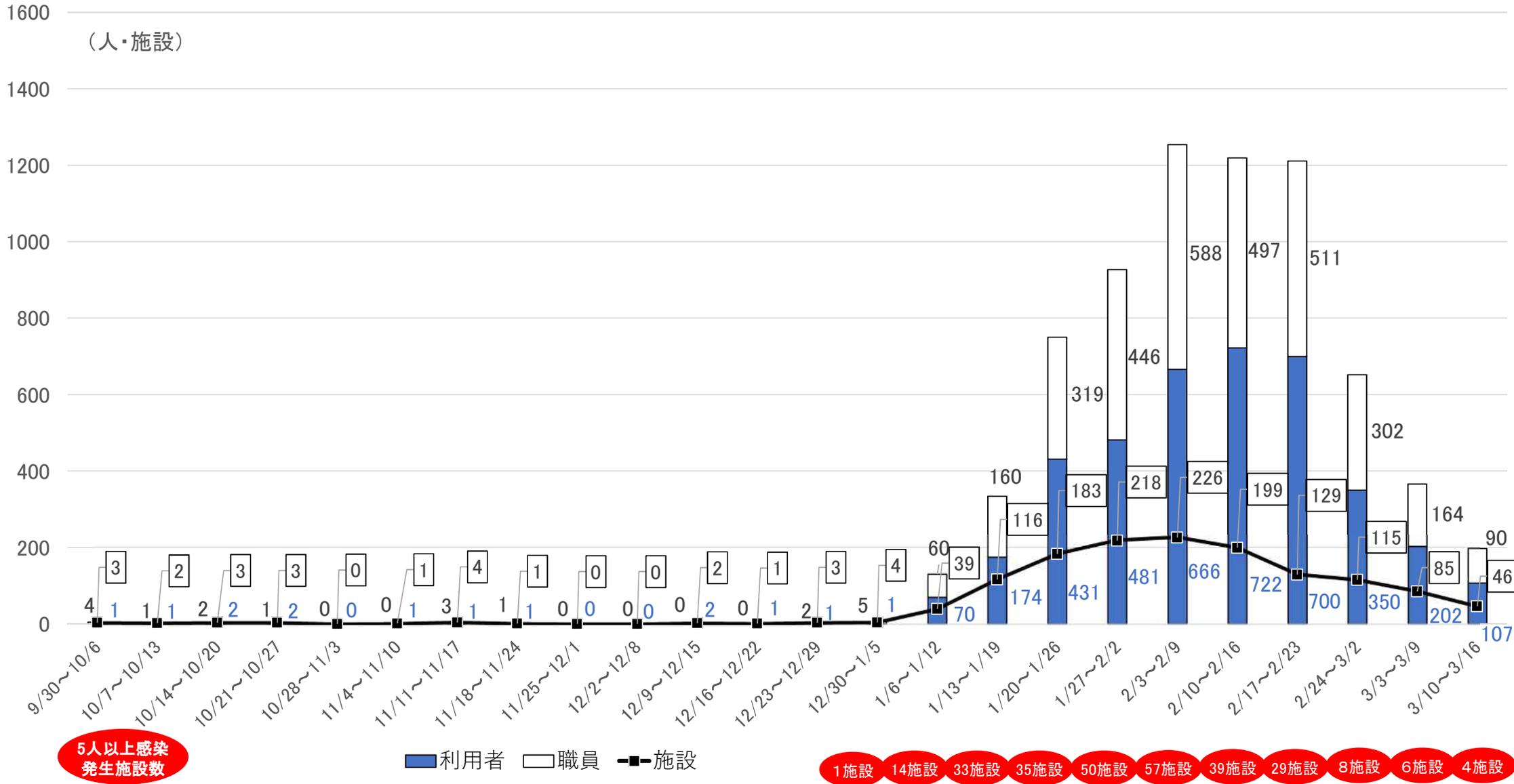
（2）高齢者人口に対する接種率

- 国は希望する高齢者に対し2月中に接種を完了するよう自治体に対して要請
- 高齢者人口に対する接種率は、埼玉県は75.95%であり、全国平均の73.60%を上回っている(14位)

	高齢者人口	接種回数	接種率
全国	35,767,994	26,326,578	73.60%
埼玉県	1,959,702	1,488,347	75.95% (+2.34)

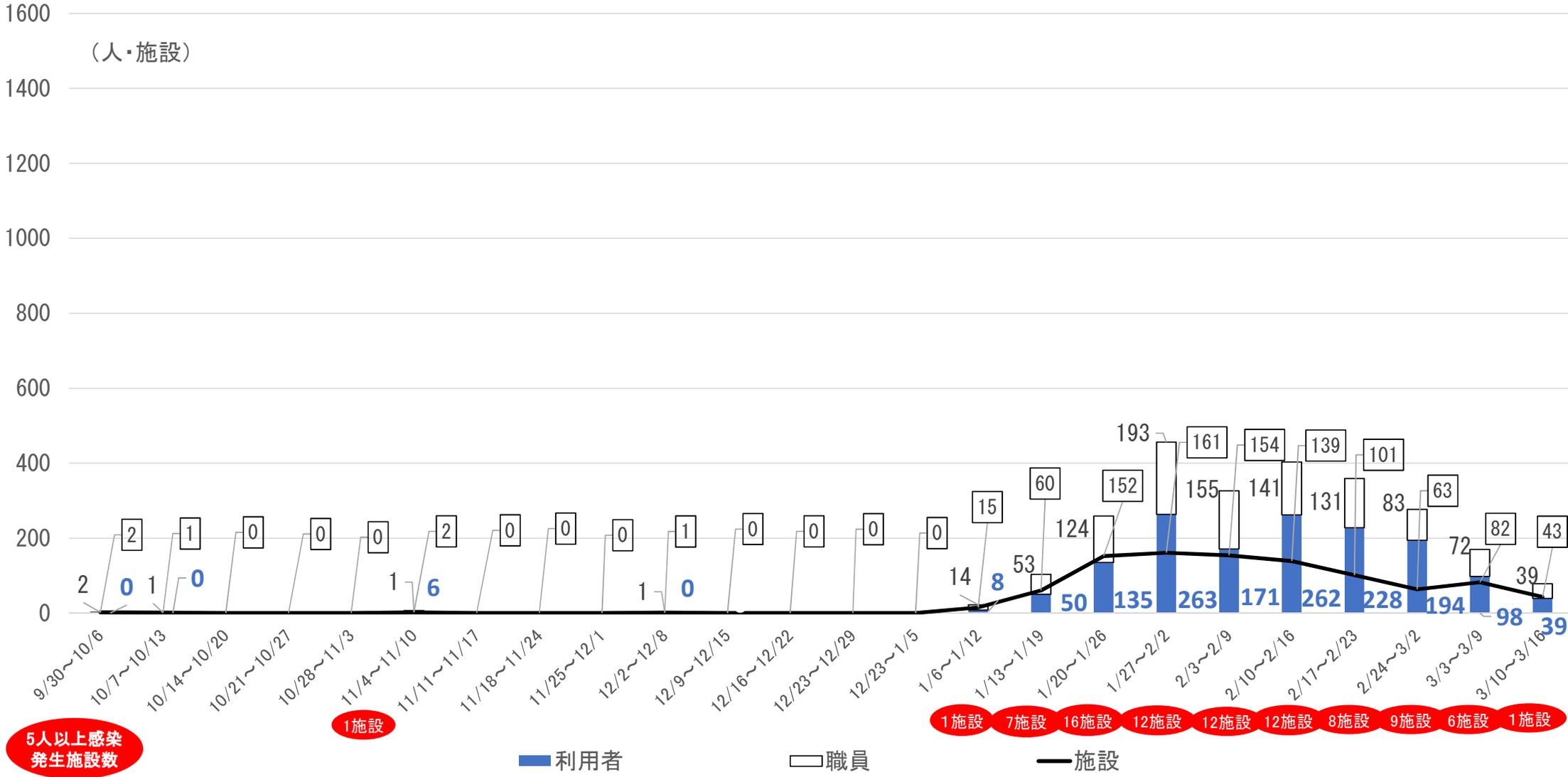
高齢者施設における感染発生状況(利用者・職員・施設数/週)

令和4年3月16日現在



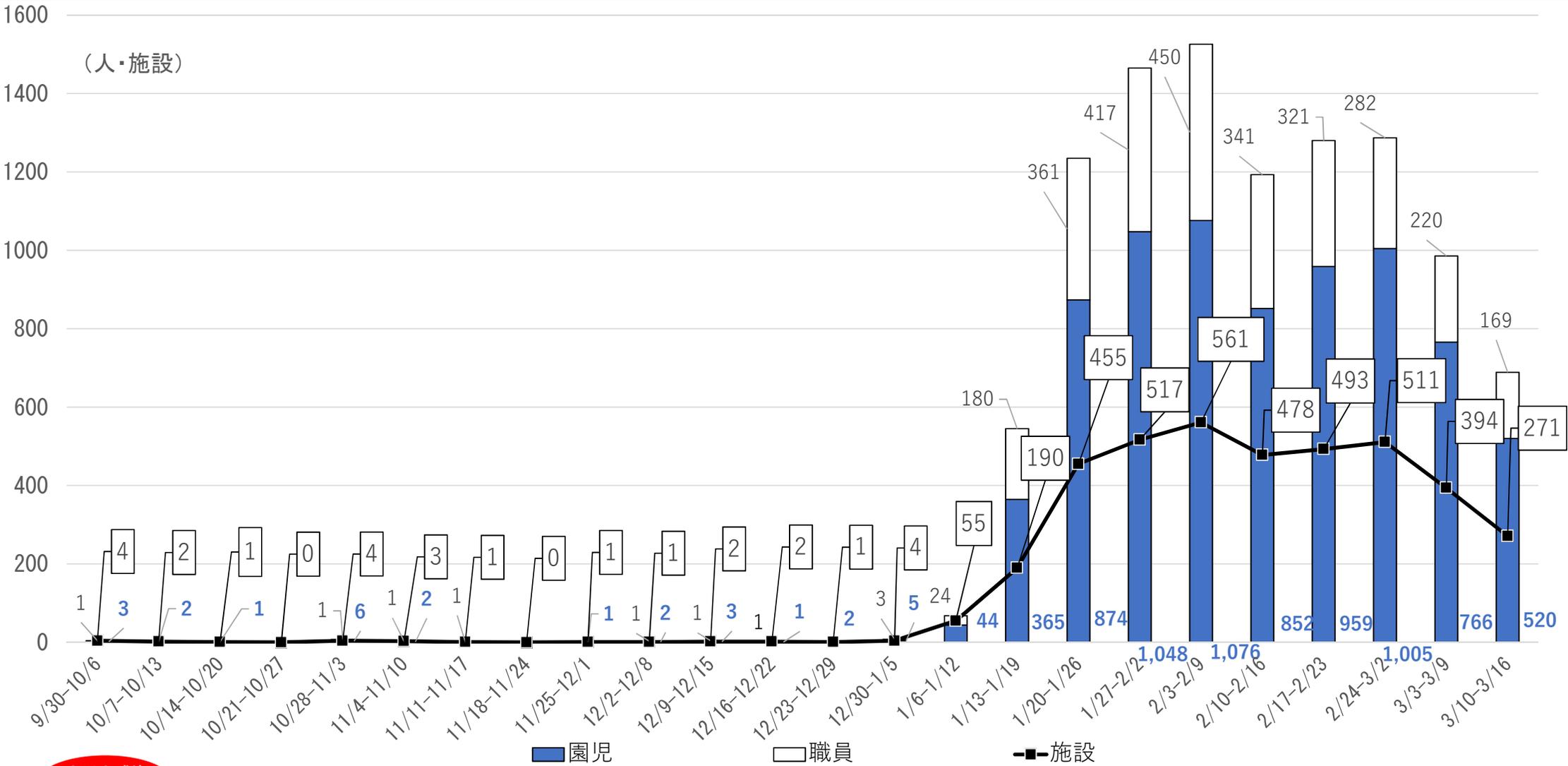
障害児者施設における感染発生状況(利用者・職員・施設数/週)

令和4年3月16日現在



保育施設における感染発生状況(園児・職員・施設数/週)

令和4年3月16日現在



5人以上感染発生施設数

1施設

1施設 1施設 15施設 42施設 94施設 83施設 66施設 75施設 89施設 63施設 56施設

令和4年3月22日以降における県民・事業者の皆様へのお願い（案）

令和4年3月 日

政府対策本部は、本県に対するまん延防止等重点措置を実施すべき期間とされている令和4年3月21日をもって、まん延防止等重点措置を集中的に実施する必要がある事態が終了する旨を公示することを決定いたしました。

3月22日以降、感染の再拡大を防ぎ、感染防止対策と社会経済活動の両立を図っていくため、以下のとおり、協力をお願いします。なお、期間については、当面の間とします。

1 県民への要請等

新型インフルエンザ等対策特別措置法（以下「特措法」という。）第24条第9項に基づく要請

○ 感染に不安を感じる場合

- ・ 感染に不安を感じる無症状者については、ワクチン接種済者を含め、検査を受けてください。

※ 次の3つの条件を満たす者を対象とします。

- ① 発熱などの症状がない者（症状がある場合は、医療機関を受診してください。）
- ② ワクチン接種の有無に関わらず、感染リスク等が高い環境にあるなどの理由により、感染に不安を感じる者
- ③ 埼玉県内に在住する者

○ 外出・移動（その他のお願い）

- ・ 帰省や旅行等、県境をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め、基本的な感染防止対策（「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等）を徹底するとともに、**移動先での感染リスクの高い行動を控えてください。**
- ・ **体調がすぐれない場合は、外出（飲食店の利用やイベントへの参加等）を控えてください。**

○ 飲食店等の利用（その他のお願い）

- ・ 業種別ガイドライン等を遵守している施設等、特に、飲食等については、お客様の命を守る取組に参加する「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+（プラス）」認証店をご利用ください。

○ オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止対策（その他のお願い）

次の感染防止対策を徹底し、感染リスクを減らすようにしてください。

- ・ 飲食は、なるべく長時間を避け、大声を出さないようにすること。
- ・ 会話をする際にはマスクの着用を徹底すること。
- ・ 感染リスクの高い場面・場所への外出は避けること。
- ・ 家庭内においても室内を定期的に換気するとともにこまめに手洗いを行うこと。
- ・ 子どもの感染防止策を徹底すること。
- ・ 高齢者や基礎疾患のある者は、いつも会う人と少人数で会うこと。

2 事業者（施設管理者等を含む。）への要請等

（1）すべての事業者への要請等

特措法第24条第9項に基づく要請

- ・ 業種や施設の種別ごとに、自主的な感染予防のための取組等を定めた業種別ガイドラインや「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」の使用・遵守をしてください。

○ オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止対策 **(その他のお願い)**

- ・ 業務継続の観点からも、在宅勤務（テレワーク）の活用等による出勤者数の削減目標を前倒しで設定してください。

○ ワクチン接種歴や検査結果を確認する取組について **(その他のお願い)**

- ・ 県民の安心・安全を高めるとともに、社会経済活動を回復・継続する取組として、飲食やイベント、移動等で感染リスクの高いと考えられる場面・場所において、ワクチン接種歴や検査結果の確認を行うことを推奨します。なお、不当な差別にならないよう留意してください。

※ 未就学児（概ね6歳未満）については、同居する親等の監護者が同伴する場合には検査を不要とし、概ね6歳以上から12歳未満の児童については、ワクチンの2回接種までの間、検査結果の確認をお願いします。

(2) 施設管理者等へのお願い **(その他のお願い)**

- ・ これまでにクラスターが発生しているような施設や「三つの密」を避けることが難しい施設については、徹底した感染防止対策を講じてください。

(3) 職場でのお願い **(その他のお願い)**

○ 出勤者数の削減・人と人との接触を低減させる取組

- ・ 職場への出勤について、在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤等、人と人との接触を低減させる取組を推進してください。

○ 職場における感染防止対策 **(その他のお願い)**

- ・ 職場において、感染防止のための取組（手洗いや手指消毒、せきエチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、軽症状者に対する抗原簡易キット等を活用した検査、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議の活用、昼休みの時差取得、社員寮等の集団生活の場での対策等）や「三つの密」等を避ける行動を促進してください。

特に、「居場所の切り替わり」に注意し、休憩室、更衣室、喫煙室等での感染防止対策を徹底してください。

○ 重症化リスクのある労働者等への配慮 **(その他のお願い)**

- ・ 高齢者や基礎疾患を有する者等重症化リスクのある労働者、妊娠している労働者及び同居家族にそうした者がいる労働者については、本人の申出等を踏まえ、在宅勤務（テレワーク）や時差出勤等の感染予防のための就業上の配慮を行ってください。

3 飲食店等へのお願い **(その他のお願い)**

- ・ 「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」の使用・遵守を徹底してください。
- ・ 「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+（プラス）」の認証を取得していない飲食店等は、速やかに取得するようにお願いします。

なお、認証を取得していない飲食店等は、引き続き、営業時間を午前5時から午後8時まで、酒類提供の自粛をお願いします。

4 イベントの開催制限について

特措法第24条第9項に基づく要請

		施設の収容定員		
		5,000人以下	5,001～10,000人	10,001人以上
大声なし	安全計画の策定あり	収容定員まで		
	安全計画の策定なし	収容定員まで	5,000人まで	収容定員の半分まで
大声あり		収容定員の半分まで		

○ 感染防止安全計画（以下「安全計画」という。）策定対象となるイベント

ア 対象

「参加予定人数が5,000人超」かつ「収容率50%超」のイベント（「大声なし」の場合に限る。）

※ 「大声」とは、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること。」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」のイベントとする。

イ 人数上限及び収容率

（ア）収容定員が設定されている場合

【人数上限】 収容定員まで 、 【収容率】 100%

（イ）収容定員が設定されていない場合

（地域の行事、全国的・広域的なお祭り、野外フェスなど）

人と人とが触れ合わない程度の間隔（1m程度）を確保

ウ 安全計画に記載すべき事項

業種別ガイドラインや施設ごとに定めた「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」等を踏まえ、次の項目について、具体的な感染防止対策を安全計画に記載すること。

- ① 飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底、② 手洗、手指・施設消毒の徹底、③ 換気の徹底、
- ④ 来場者間の密集回避、⑤ 飲食の制限、⑥ 出演者等の感染対策、⑦ 参加者の把握等

エ 安全計画の提出期限

主催者等は、原則として、イベントの開催日の2週間前までに、県に提出すること。

オ 結果報告書の提出

主催者等は、イベント終了日から1か月以内を目途に結果報告書を県に提出すること。

ただし、クラスター等の発生が確認された場合は、直ちに県に報告すること。

○ それ以外の（安全計画が策定されない）イベント

主催者等は、県が定める「チェックリスト」様式に、イベント開催時に行う感染防止対策を記載し、主催者等のホームページ等で公表すること。

ア 人数上限及び収容率

（ア）収容定員が設定されている場合

【人数上限】 「5,000人」、又は「収容定員の50%」のいずれか大きい方

【収容率】 大声なし：収容定員の「100%」、 大声あり：収容定員の「50%」

→ 「人数上限」、「収容定員に収容率を乗じた人数」のいずれか小さい方まで

(イ) 収容定員が設定されていない場合

(地域の行事、全国的・広域的なお祭り、野外フェスなど)

大声なし：人と人が触れ合わない程度の間隔（1 m程度）を確保

大声あり：十分な人と人との間隔（できるだけ2 m、最低1 m以上）を確保

イ 業種別ガイドライン等の遵守

業種別ガイドラインや施設ごとに定めた「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」の使用・遵守を徹底すること。

ウ チェックリストの保管

主催者等は、自らが作成した「チェックリスト」をイベント終了日から1年間保管すること。

○ 基本的な感染防止対策の徹底や直行直帰の呼びかけ **(その他のお願い)**

主催者等は、イベントの前後の活動における基本的な感染防止対策の徹底や直行直帰の呼びかけ等を行ってください。

5 県主催イベント及び県有施設の取扱い

- ・ 県主催イベントについては、徹底した感染防止対策を講じることを条件に開催します。
- ・ 県営公園では、同居家族等を除き、花見等での宴会の自粛をお願いします。
- ・ 県有施設内の飲食店では、5人以上で飲酒を伴う飲食をする場合、ワクチン接種歴又は検査結果を確認します。
- ・ 屋内県有施設については、人数上限等の要請を受けている施設と同様の要請を遵守し、次に掲げる徹底した感染防止対策を講じ主催者に徹底させることを条件に開館します。
 - ◇ 以下の感染防止対策を徹底します。
 - ・ マスク着用、手指消毒、検温など来場者の感染防止対策
 - ・ 諸設備の消毒、施設スタッフの体調管理の徹底
 - ・ 三密を回避するための入場制限、来場者動線や社会的距離を確保する等の感染防止対策
 - ・ 接触確認アプリ（COCOA、埼玉県LINE コロナお知らせシステム）の導入
 - ・ その他、シャワーの使用方法など個々の感染防止対策については、業種別ガイドラインや施設ごとに定めた「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」を遵守するように求めます。

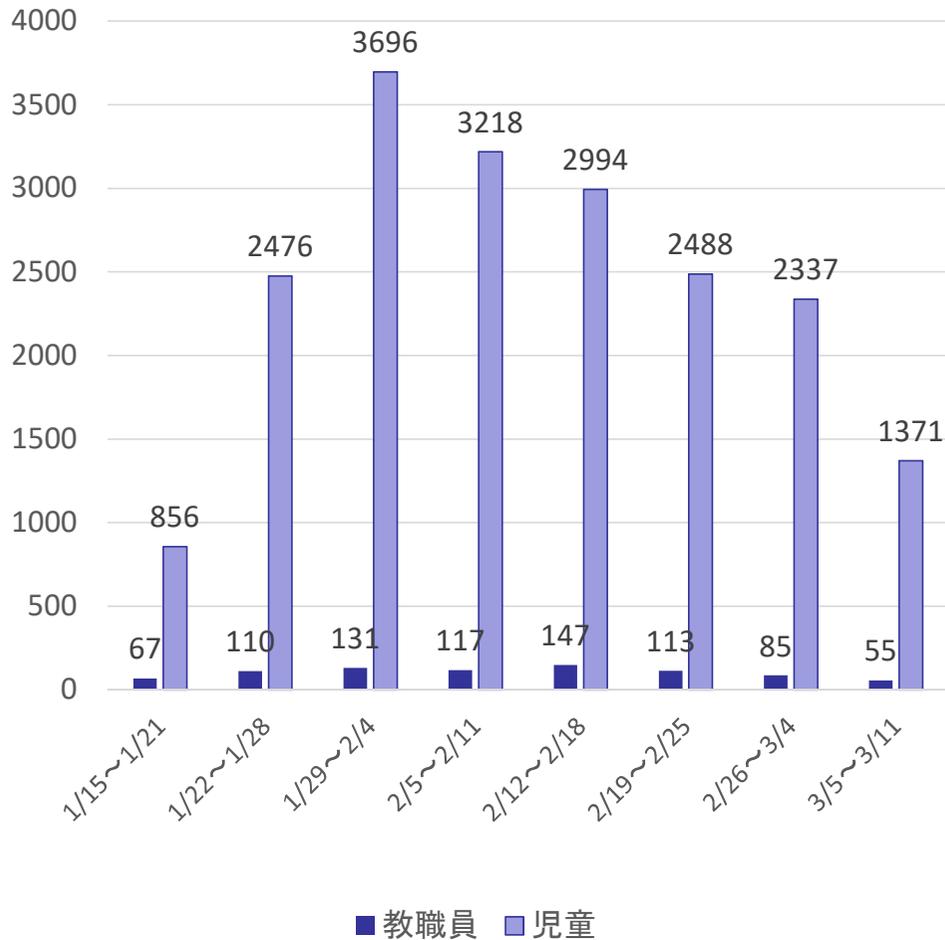
市町村立小・中学校の感染状況

令和4年3月11日現在

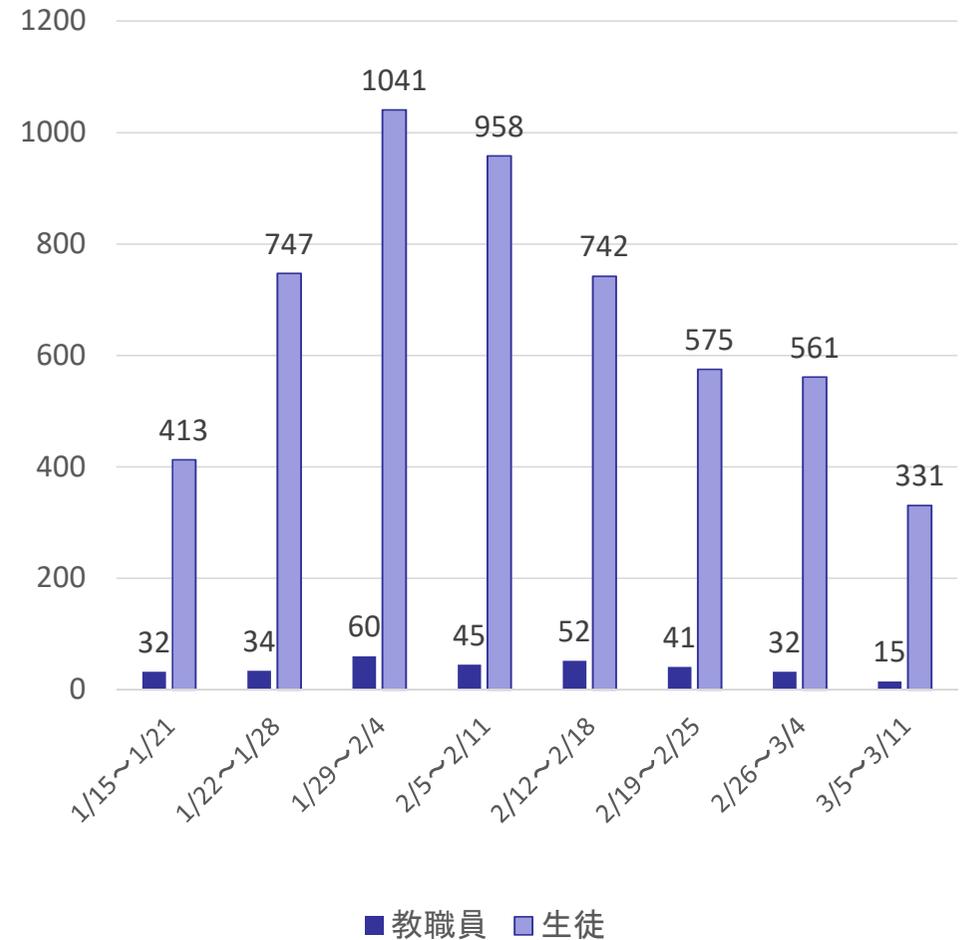
※ さいたま市を除く

新規陽性者の推移 (陽性判明日ベース)

(小学校)



(中学校)

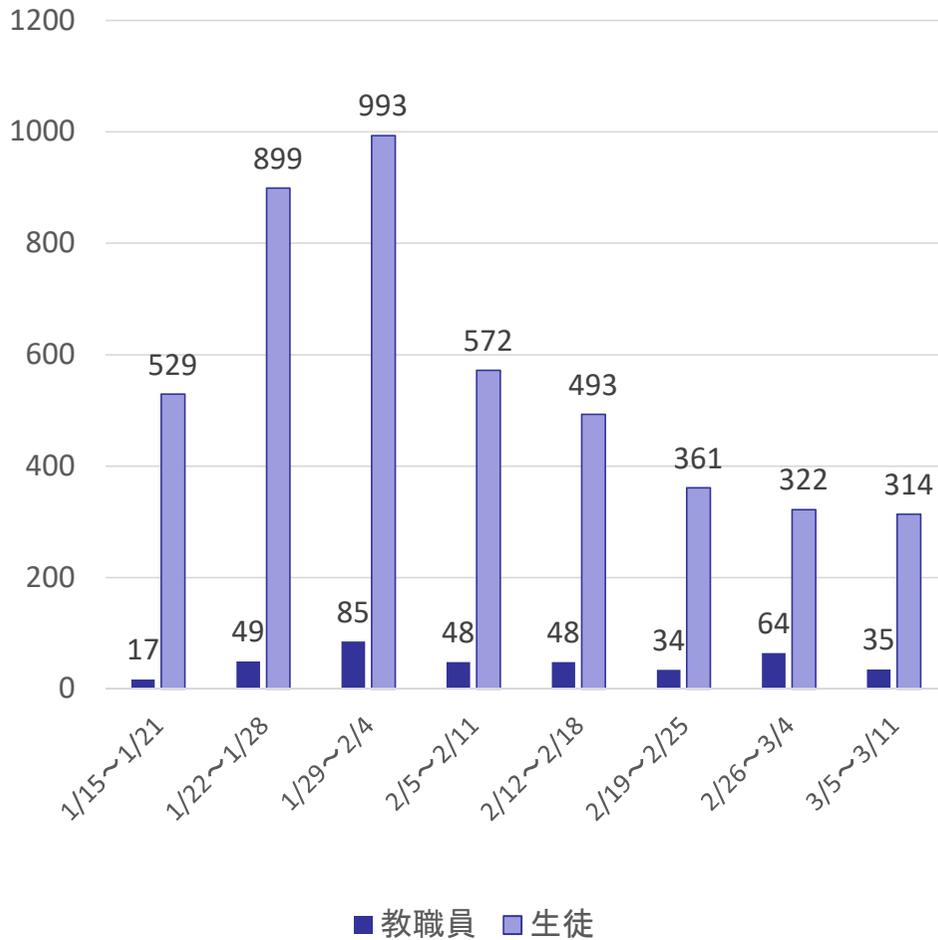


県立高等学校の感染状況

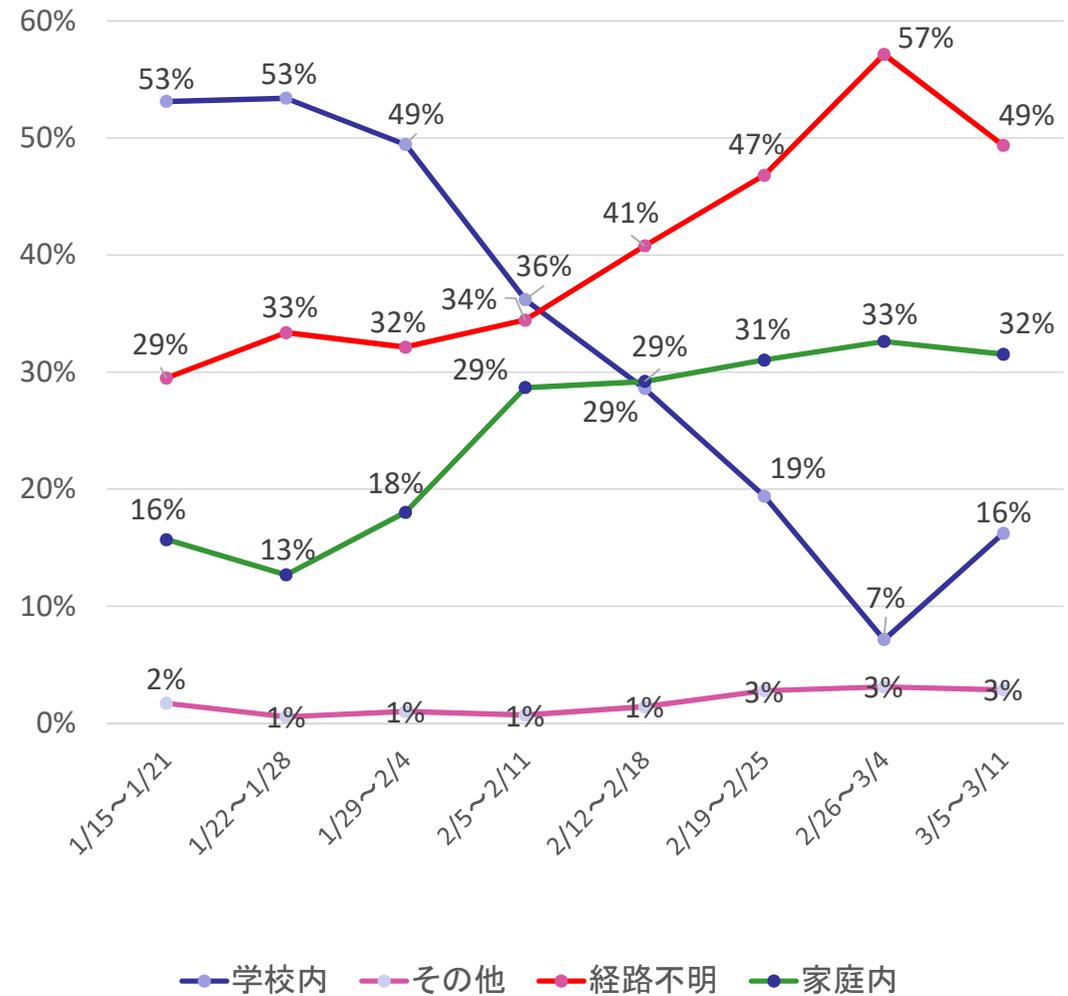
令和4年3月11日現在

■ 新規陽性者の推移（陽性判明日ベース）

（高等学校）



■ 疑われる感染経路（生徒）



3月22日以降の学校の対応 ～ 春休み・新学期を迎えるにあたって ～

◆ 陽性者発生時の初期対応(臨時休業等)を徹底し、教育活動を実施

1. 授業

- 感染防止対策の徹底と新学期に向けた準備
- オンライン学習環境の再確認と準備

2. 学校行事(卒業式・入学式等)

- 原則児童生徒・教職員で実施(保護者の参加は1名まで)
- 内容の精選・時間の短縮
- 式後の集まり・会食の自粛
- 校外行事は目的地の状況等を踏まえて慎重に判断

3. 部活動(県のガイドラインを遵守)

- 健康管理の一層の徹底(体調不良の際は参加禁止)
- 活動場所の換気・飛沫感染防止対策の徹底
- 更衣・休憩場面、活動前後、登下校時の感染防止対策の徹底
- 泊を伴う合宿や遠征等の禁止
- 練習試合等は自校を含めて2校まで(県外での活動は慎重に判断)

4. 教職員・児童生徒のワクチン接種(希望者の接種を促進)

- 教職員(小・中・高・特支)の追加接種を促進
- 希望する児童生徒が安心して接種できる環境と適切な配慮
- 差別やいじめ等の防止のための適切な配慮

学校外での感染防止(春休みに向けて)

◆ 児童生徒への指導と保護者への協力依頼 ～ 家庭における感染対策のお願い～

- 春休み期間中の健康観察の継続
(体調不良の際は外出しない・させない)
- 学校への速やかな連絡・報告
- 正しいマスクの着用
- 手洗いの徹底と適切な換気
- 規則正しい生活習慣の徹底
- 外出時における直行直帰の徹底
- 飲食中はなるべく会話を控える

感染拡大地域における小中学校の対応

◆ 子供世代(10歳未満)の市町村別感染状況を踏まえ 市町村教育委員会に注意喚起 (保健医療部データを活用)

- 学校から家庭に感染防止への協力依頼(緊急メール等)

※ 市町村教育委員会に対し、県立学校の対応を踏まえ、各地域の感染状況や児童生徒の発達段階等を考慮した上で、適切な対応を要請

※ 私立学校に対し、上記対応に加え、寮での感染対策の更なる徹底を要請 (総務部)

児童・生徒・保護者の皆様へ

コロナに負けるな『さ・し・す・せ・そ』

～元気に1年間を締めくくり、新年度を迎えるために～

●保護者の皆様へ●

毎日、感染症対策にお取り組みいただきありがとうございます。元気に1年間を締めくくり、新生活をスタートするために、引き続きご家庭でも各自でできる感染症対策をお願いいたします。

年度末は人が集まる機会が多くなります。食事を伴う席がある場合には健康観察を行うとともに、少人数・短時間・大声を避けるなど、ご協力をお願いします。



さ

さんみつ
3密さけて
こまめに
かんき
換気

し

しっかり
しょくじ
食事
かいわ ひか
会話を控える

す

すっぽり
ますく
マスク
くち はな
口と鼻

せ

せつ
石けんで
ゆびさき あら
指先洗いに
あら
ねじり洗い*

そ

そーしゃる
ソーシャル
でいすたんす
ディスタンス
ひと きょり
人との距離を
あけよう



*親指や手首を握って、
ねじりながら洗うこと



「感染予防の啓発活動」～コロナに負けるな さ・し・す・せ・そ～

感染症対策として、たくさんの方がおられる中で、ポイントをしほりわかりやすく「合い言葉」で呼びかけることが感染予防につながると考え、感染症対策のポイントを保健委員会の生徒が「さしすせそ」でまとめ、保健集会で発表しました。【熊谷市立荒川中学校の実践事例から】

埼玉県教育委員会（令和4年3月）